

[I] [解答例]

Seeing your doctor means “giving yourself the chance to live healthier and longer.” To do that, you have to be “a good patient.” What I mean by that is, a person who is trying eagerly and willingly to “get well.” First of all, you need to know the exact state [condition] you are in and tell your doctor about all your symptoms. This ensures that you will get adequate treatment. After all, it’s for your own good.

[解説]

訳出のポイント

- ① 「医者にかかる」: see one's(a) doctor
- ② 「～ということだ」: mean, または be 動詞(is)でもよい。
- ③ 「～するチャンスをつかむ」: get the chance to V でもよいが、この場合, give oneself the chance to V の方が自然。
- ④ 「より健康に長生きするチャンス」: the chance to live healthier and longer。 the chance to live a healthier and longer life でも可。
- ⑤ 「そのためにも」: To do that
- ⑥ 「こちらが」: 一般の人 you でよい。
- ⑦ 「よい患者とは」: 解答例では, “What I mean by that (その言葉で私が言わんとしているのは) ” を使っているが、日本語の直訳的に, “A good patient is” でもよい。
- ⑧ 「意欲を持って「治ろう」と本気で取り組む人」: a person who is trying eagerly (本気で) and willingly (意欲を持って) to “get well”
- ⑨ 「まず」: First (of all),
- ⑩ 「～することが大切だ」: 直訳すると It is important to ... だが, You need to ... でもよい。
- ⑪ 「自分の状態をきちんと把握する」: know the exact condition in which you are [the exact condition you are in]
- ⑫ 「医者に理解してもらう」は「医者に伝える」と変換した方が英語的に自然。
- ⑬ 「病状」は「症状(symptoms)」と考える。
- ⑭ 「そうすれば～」は This ensures that (これによって～が確実になる) を使ってもよい。
- ⑮ 「治療」: treatment
- ⑯ 「ひいては」は「結局は」と考え, after all としてもよい。
- ⑰ 「自分のためなのだ」は解答例以外にも, After all, it will do you good. などを使ってもよい。

[II] [解答]

(ア) 1 (イ) 2 (ウ) 1 (エ) 1 (オ) 2
(カ) 2 (キ) 1 (ク) 2 (ケ) 2 (コ) 1
(サ) 2 (シ) 1

[解説]

(ア) unless にすれば「他者に対し、多大な重圧とならない限り」となり文意が成立する。

(イ) 文脈から「後ろの車」となる。

(ウ) 文脈から「速度を落とし始める」となる。

(エ) この lot は「人々」を表す名詞なので、形容詞の patient が正答。

(オ) 文脈から「～まで」となる。

(カ) 文脈から「全く効果が無い」となる。

(キ) speed に伴う前置詞は at

(ク) 文脈から「生計の手段」となる。

(ケ) refer to O as C (OをCと呼ぶ)

(コ) an excess of ~ (過度の~)

(サ) 文脈から「気づかない振りをしていた」となる。

(シ) 前後が「理由はよくわからない。しかし、うれしいものだ」という文脈になる。

[III] [解答例]

- すし職人と数学教師は、10年間経験を積んで初めて一人前とみなされる。
- 同僚たちに観察され、助けられながら優れた教師になっていく日本の習慣と、数ヶ月の研修後に教育大の卒業生を教室に送り込み、成功しようがしまいが、生徒達にとって幸運となろうが不運となろうが、彼らを放任するアメリカの習慣とを対比してみてください。
-
- (A) 2 (B) 1
- (C) 1 (D) 2

[解説]

1.

訳出のポイント

- “coming into their own”: ここでは「一人前になる」と訳すのがよい。
- “they've been at their jobs for a decade” 「10年間仕事についている」
- not until ~ 「～して初めて、する」

2.

訳出のポイント

- this は直前の “Throughout their career their jobs.” を指す。
- contrast A with B 「AをBと対比させる・比較する」
- 「the American practice of」 「～というアメリカの習慣」 “putting” と “leaving” が並列関係にある。
- “to succeed or not” は不定詞の副詞用法だが、文脈上「成功しようがしまいが」と訳すとよい。
- “to the good or ill fortune of” 「～にとって幸運になろうが不運になろうが」

3.

(A) 直後の説明から判断できる。
(B) 直後の説明から判断できる。

4.

(C) 直前に「カナダ人は成功したことに長時間取り組む」という内容の記述がある。
(D) “Jacks and Jills of all trades” は、「何でも屋、あらゆる知識を持っている人」を意味するが、「広く浅く」という意味合いも含まれている。日本人は自己の向上のため、好きではない苦手なことにも取り組むという内容から判断できる。

[IV] [解答例]

1.

私がバラエティ一番組やドラマを見ない最大の理由は、最近編集の仕方が非常に腹立たしいと思うからであり、我慢するより全く見ないほうがよいと思うほどである。

2.

テレビのリモコンの発明以来、テレビ局はコマーシャルになつた途端に視聴者がチャンネルを変えてしまい、そのまま戻ってきてくれないのではないかと心配している。

3.

(A) 2 (B) 1 (C) 4 (D) 3

4.

テレビ局はコマーシャルの合間に、番組をわずか 30 秒ずつ流すことによって、視聴者をだまして満足させている。

5.

テレビ局が思いつく、視聴者の注意を引きつけておくための次なる妙案が、番組をより面白いものにすることであるよう祈るしかない。

[解説]

1.

訳出のポイント

① “so irritating that ……”は直前の irritating と同格関係にある。

② I'd rather V1 than V2 「V2 するより V1 したほうがよい・V1 したほうがました」

2.

訳出のポイント

① worry that 「～を心配する、～ではないかと心配する」

② “you”は一般の人々を表すが、ここでは「視聴者」としてもよい。

③ the instant = as soon as

3.

(A) The guerilla break (ゲリラ的 CM ブレイク) は「予告のない突然の」というニュアンスなので、**2** の第 1 文 “It comes out of nowhere, when you least expect it.” と一致する。

(B) The bait-and-switch break は「何らかのエサで視聴者を釣る」というニュアンスなので **1** の記述と一致する。

(C) déjà vu は「既に見たことがあるような錯覚」を意味するので、**4** の内容と一致する。

(D) 空所の直前の文にある “if their show starts before other stations' shows” から判断できる。

4.

訳出のポイント

① fool O into …… 「O をだまして～させる」

② complacency 「安心、満足」

③ “running little 30-second chunks of the main show ……”が最も訳しづらいが、「CM スポットの合間に、メインの番組を 30 秒ずつ放送する」という内容を汲み取った上で訳出すればよい。

5.

“for holding your attention”は、“the next clever idea”を修飾する形容詞句。

[V] [解答例]

1. 電気会社を選ぶ際、利用者には料金以外に区別するための基準がないということ。(37字)
2. 料金が私の唯一の基準だったので、私はリストの中で最も料金の安い会社を選び、すぐに変更した。
3. しかしスーパーマーケットは、請求額が増すので客に提供するサービスは多ければ多いほど良いという考え方を完全に覆したのである。
4. しかし客に作業を負担させるという発想は、最近また流行してきた。

〔解説〕

1. “You are left without …” 「～を持たない・与えられない」ということ。

“differentiation” 「区別」

否定語 ~ whatsoever = 否定語 ~ at all

従って、下線部だけの内容を簡単にまとめれば「価格以外、区別するための点が何もない」となるので、後は前後の情報をうまく付け加えながらまとめていく。

- 2.

〔訳出のポイント〕

- ① “Price being my only criterion” は分詞構文。言い換えれば As price was my only criterion, となる。
- ② chose と switched が並列関係にある。
- ③ switched は「(電気会社を) 変更した」

- 3.

〔訳出のポイント〕

- ① that idea = the more service could charge を指すが、the better の直後に it was (訳出不要)が省略されている。“the amount you could charge”は「請求額」
- ② “turn that idea on its head”は、「その考えを完全に覆す」

- 4.

〔訳出のポイント〕

- ① the idea of 「～という発想 (考え)」
- ② “making customers do the work” は直訳してもよいが、具体的な内容が直後の “making customers pick the goods from the shelves”なので、そこを利用して「客に作業を負担させる」などと訳してもよい。
- ③ epidemic は「流行・はやり」

[VI] [解答例]

[答案例①]

If I were a pet, I would like to have a responsible master. Nowadays more and more people keep pets, but I don't think all of them are responsible enough. Some pets are not properly fed. Some are abused. Some are even discarded just like garbage. The mere thought of being kept by such an irresponsible master makes me feel disgusted. Pet owners should bear in mind that pets are creatures like humans, so they should be responsible. (78 words)

[答案例②]

I'd like to be the apple of his eye, so I'd behave well and do everything I can to please him. At the same time, however, I'd like him to follow suit. I'd like him to care about me as much as I do about him, now and always. I'd hate it if someone else were on his mind. I want to be the sole and eternal object of his attention. That's the kind of master I should like to have. (81 words)

〔解説〕

〔作成上のポイント〕

1) 構成をしっかりと組み立てる

軽いエッセーではあるが、序論（どんな飼い主を望むか）、本論（その理由）、結論（序論の繰り返し、又はまとめ）という構成は必要である。

2) 仮定法で書く

この場合、トピックは「自分がペットだったら」という仮定なので、仮定の話を述べるときは必ず仮定法を使う。

3) 文法・スペルなどのミスは絶対にしない。

4) 自信の無い、または、うろ覚えの構文、表現は使わない。

5) 小論文ではなく、英語力を試す問題であることを忘れずに。

立派で高邁な内容の文を無理に書こうとして英語力がついでいかず、その結果破綻した英作文になるケースがかなり多く見受けられる。自由英作文はあくまで英語力を測定するテストなので、論理性があれば内容は無難なものでかまわない。